

# 令和2年(2020)1月 入域観光客数概況

72万7,800人  
対前年(H31)同月比 -25,700人、-3.4%  
～1月における過去2番目の入域観光客数～

## 入域状況

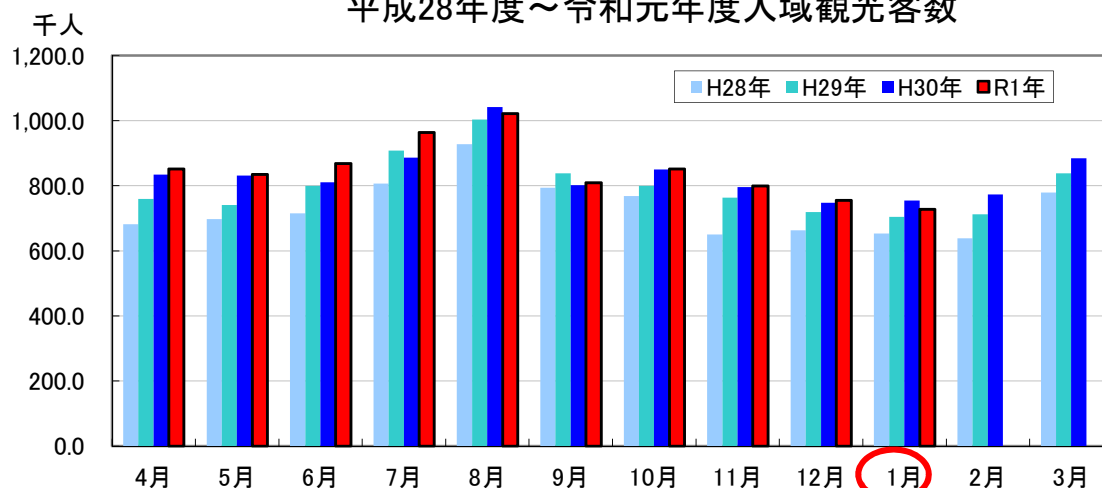
入域観光客数(平成30年度との比較) ※外国客については、乗務員等を**含む**

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	534,300人	523,700人	+ 10,600人	+ 2.0%	73.4%
外国客	193,500人	229,800人	△ 36,300人	△ 15.8%	26.6%
合計	727,800人	753,500人	△ 25,700人	△ 3.4%	100.0%

【参考】入域観光客数(平成30年度との比較) ※外国客については、乗務員等を**除く**

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	534,300人	523,700人	+ 10,600人	+ 2.0%	75.9%
外国客	169,200人	202,500人	△ 33,300人	△ 16.4%	24.1%
合計	703,500人	726,200人	△ 22,700人	△ 3.1%	100.0%

平成28年度～令和元年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

1月は、年末年始の旅行需要の高まりがあったことや、航空会社の提供座席数が増加したこと等から、前年を上回った。

2月は、昨年に比べて休暇が1日増えたことやスポーツキャンプ見学等の各種イベントによる旅行需要の高まりが期待されるものの、新型コロナウイルス感染症の発生による旅行自粛の動きが懸念されることから、状況を注視していく必要がある。

## 外国客 入域状況

1月は、韓国市場における訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便に加え、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、中国市場における団体旅行の販売が禁止されたこと等から、前年を下回った。

2月は、引き続き韓国市場における訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便に加え、新型コロナウイルス感染症の発生による航空路線の減便やクルーズ船の寄港回数の減少等が見込まれており、大幅な減少が予想される。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	259,400 人	253,800 人	+ 5,600人	+ 2.2%	48.5%
関西方面	104,700 人	101,800 人	+ 2,900人	+ 2.8%	19.6%
福岡方面	70,600 人	69,700 人	+ 900人	+ 1.3%	13.2%
名古屋	46,500 人	44,900 人	+ 1,600人	+ 3.6%	8.7%
その他	53,100 人	53,500 人	△ 400人	△ 0.7%	9.9%
合計	534,300 人	523,700 人	+ 10,600人	+ 2.0%	100.0%

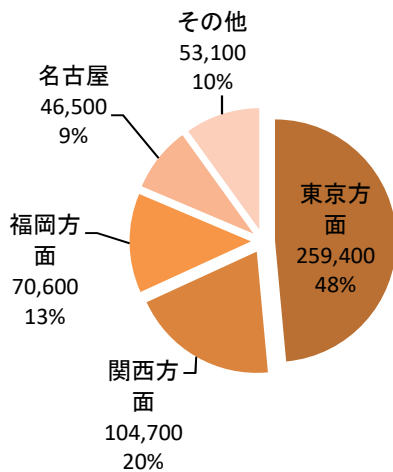
※国内海路客2,200人を含む(鹿児島1,800人、横浜400人)

## 外国客 国籍別入域状況

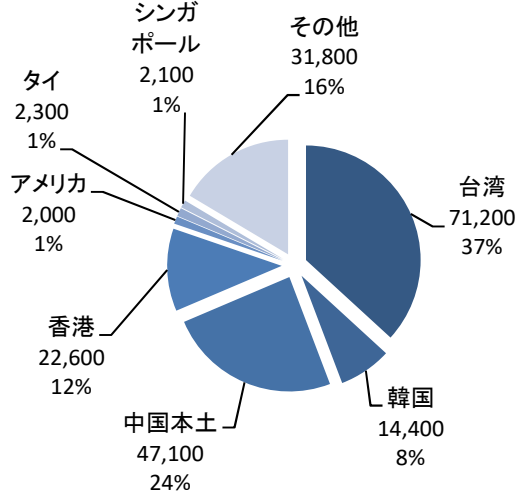
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	R1年度	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	71,200 人	71,200 人	55,000 人	+ 16,200人	+29.5%	36.8%
韓国	14,400 人	14,400 人	61,100 人	△ 46,700人	△76.4%	7.4%
中国本土	47,100 人	47,100 人	66,400 人	△ 19,300人	△29.1%	24.3%
香港	22,600 人	22,600 人	10,800 人	+ 11,800人	+109.3%	11.7%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	1,700 人	+ 300人	+17.6%	1.0%
タイ	2,300 人	2,300 人	2,400 人	△ 100人	△4.2%	1.2%
シンガポール	2,100 人	2,100 人	1,600 人	+ 500人	+31.3%	1.1%
その他	31,800 人	7,500 人	30,800 人	+ 1,000人	+3.2%	16.4%
合計	193,500 人	169,200 人	229,800 人	△ 36,300人	△15.8%	100.0%

### 国内客の地域構成比



### 外国客の国籍構成比



## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	56,500 人	56,500 人	+13.0%	46.3%	14,700 人	14,700 人	+194.0%	20.5%
韓国	14,200 人	14,200 人	△76.7%	11.6%	200 人	200 人	+100.0%	0.3%
中国本土	22,500 人	22,500 人	+11.9%	18.5%	24,600 人	24,600 人	△46.9%	34.4%
香港	17,900 人	17,900 人	+72.1%	14.7%	4,700 人	4,700 人	+1075.0%	6.6%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	+0.0%	1.3%	400 人	400 人	+300.0%	0.6%
タイ	2,300 人	2,300 人	△4.2%	1.9%	0 人	0 人	-	0.0%
シンガポール	2,100 人	2,100 人	+31.3%	1.7%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	4,800 人	4,800 人	+50.0%	3.9%	27,000 人	2,700 人	△2.2%	37.7%
合計	121,900 人	121,900 人	△18.9%	100.0%	71,600 人	47,300 人	△9.9%	100.0%

## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

1月は、年末年始の旅行需要の高まりがあったことや、航空会社の提供座席数が増加したこと等から、前年を上回った。

2月は、昨年と比べて休暇が1日増えたことやスポーツキャンプ見学等の各種イベントによる旅行需要の高まりが期待されるものの、新型コロナウイルス感染症の発生による旅行自粛の動きが懸念されることから、状況を注視していく必要がある。

### 大阪

1月は、年末年始の旅行需要の高まりがあったことや、航空会社の提供座席数が増加したこと等から、前年を上回った。

2月は、昨年と比べて休暇が1日増えたことやスポーツキャンプ見学等の各種イベントによる旅行需要の高まりが期待されるものの、新型コロナウイルス感染症の発生による旅行自粛の動きが懸念されることから、状況を注視していく必要がある。

### 福岡

1月は、年末年始の旅行需要の高まりがあったことや、一部旅行会社の旅行商品の販売強化の取組があったこと等から、前年を上回った。

2月は、昨年と比べて休暇が1日増えたことやスポーツキャンプ見学等の各種イベントによる旅行需要の高まりが期待されるものの、新型コロナウイルス感染症の発生による旅行自粛の動きが懸念されることから、状況を注視していく必要がある。

### 名古屋

1月は、年末年始の旅行需要の高まりがあったことや、航空会社の離島路線の販売が良好だったこと等から前年を上回った。

2月は、昨年と比べて休暇が1日増えたことやスポーツキャンプ見学等の各種イベントによる旅行需要の高まりが期待されるものの、新型コロナウイルス感染症の発生による旅行自粛の動きが懸念されることから、状況を注視していく必要がある。

### 台湾

1月は、台北－那覇路線のチャーター便の運航があったことや、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から前年を上回った。

2月は、新型コロナウイルス感染症の発生に伴う訪日旅行自粛の動きや、クルーズ船の寄港回数の減少等から厳しい状況が予想される。

### 韓国

1月は、訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便に加え、ベトナム人気など渡航先の多様化等から、前年を下回った。

2月は、引き続き訪日旅行自粛の動きに加え、前年同月より航空路線の減便が予定されていること等から、厳しい状況が予想される。

### 中国本土

1月は、春節による旅行需要の高まりや航空路線の拡充により空路客は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、団体旅行等の販売が禁止されたことやクルーズ船の寄港回数が減少したこと等から、前年を下回った。

2月は、引き続き新型コロナウイルス感染症の流行による団体旅行等の販売が禁止されたことに加え、航空路線の大幅減やクルーズ船の寄港が全てキャンセルとなっていることから、非常に厳しい状況が予想される。

### 香港

1月は、旧正月休暇による旅行需要の高まりに加え、前年同月より航空路線の拡充があったことや、香港発のクルーズ船の寄港が増加したこと等から前年を上回った。

2月は、新型コロナウイルス感染症の発生に伴う訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便が予定されていること等から厳しい状況が予想される。